





注入口付アンカーピン



グラウトピン

グラウトピンは、モルタルやタイル仕上げ張り付けモルタル等の浮き部を機械的に固定し、エポキシ樹脂を注入するメカニカルアンカーピンです。ステンレス製 (SUS304) です。グラウトピンを使用する事で、注入作業時における共浮きを防止する事もできます。



種類	注入口付アンカーピン	
製品名	グラウトピン (φ 6mm)	グラウトピン (φ 4.5mm) ※
荷姿		
梱包 (サイズ)	100本/小箱 (φ 6mm × 50mm) (φ 6mm × 70mm) (φ 6mm × 100mm) 小箱 付属品 ・グラウトノズル 1本 ・ドリルビット (φ 6.6mm) 1本	100本/小箱 (φ 4.5mm × 50mm) (φ 4.5mm × 70mm) (φ 4.5mm × 100mm)
穿孔径	φ 6.6mm (φ 6.5mm)	φ 5 ~ 5.5mm
材質	SUS304 製・頭部 (軟質塩ビ)	SUS304 製・頭部 (ゴムパッキン)

種類	注入口付アンカーピン打ち込み棒	
製品名	グラウトピン打ち込み棒 (φ 6mm)	グラウトピン打ち込み棒 (φ 4.5mm) ※
荷姿		
梱包 (サイズ)	50mm・70mm・100mm用 各サイズ 1本単位	

種類	グラウトピン用化粧キャップ	
製品名	グラウトピン (φ 6mm) 用化粧キャップ (φ 9mm) ※	グラウトピン (φ 4.5mm) 用化粧キャップ (φ 6.5mm) ※
荷姿		
梱包 (サイズ)	特注品 (受注製造) 100個単位 (袋)	

※グラウトピン (φ 4.5mm)・打ち込み棒・化粧キャップ (2種類) については、特注品 (受注生産) となります。(納期は、受注後、約3週間程度)

■ 注入口付アンカーピンの品質

種類	テーパ型 (T型)		段付型 (D型)	品質基準値 (※)
	グラウトピン (φ 6mm)	グラウトピン (φ 4.5mm)		
試験項目	測定値			
引抜き試験	3,679N (埋込深さ 20mm)		2,280N	1,500N / 本以上
モルタル部からの頭抜け試験	1,701N		4,330N	1,000N / 本以上
ピンのせん断試験	6,400N	Group-A	6,510N	3,000N / 本以上
	7,280N	Group-B		
漏れ性試験	漏れなし		漏れなし	漏れないこと

(※) 監理指針 注入口付アンカーピンの品質・性能基準 2013年3月改訂

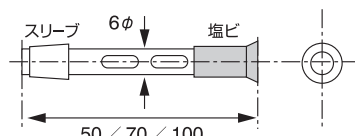
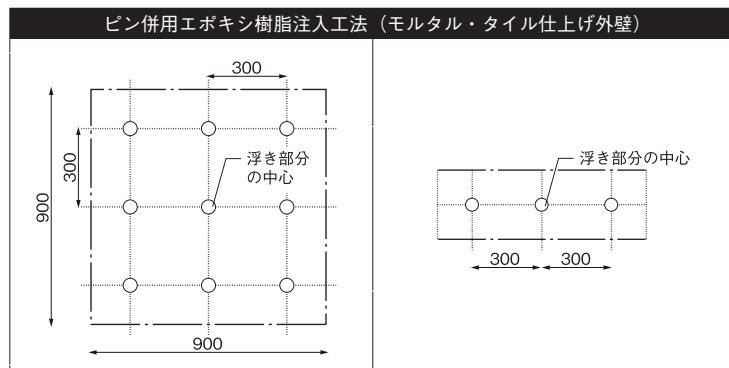
施工の標準グリッド (公共建築改修工事標準仕様書:国土交通省大臣官房官庁営繕部監修より)

注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル・タイル仕上げ外壁の改修)		
一般部分標準グリッド	指定部分標準グリッド ^{※1}	狭幅部 ^{※2}
<p>● グラウトピン 9本/m²</p>	<p>● グラウトピン 16本/m²</p>	<p>● グラウトピン 5本/m²</p>

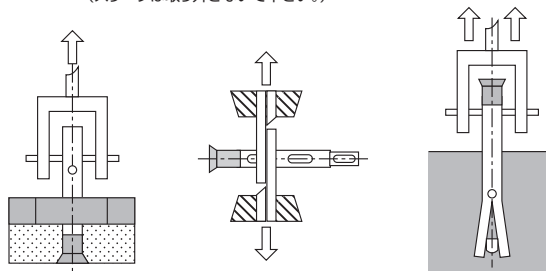
注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (モルタル・タイル仕上げ外壁の改修)		
一般部分標準グリッド	指定部分標準グリッド ^{※1}	狭幅部 ^{※2}
<p>● グラウトピン 9本/m² ○ 注入口 9箇/m²</p>	<p>● グラウトピン 16本/m² ○ 注入口 16箇/m²</p>	<p>● グラウトピン 5本/m² ○ 注入口 5箇/m²</p>

※1 指定部分とは、見上げ面、ひさしのなな、まぐさ隅角部分等をいう。 ※2 狭幅部とは、幅200mm以下で帯状にはく離している幅の狭い箇所をいう。
グラウトピンを使用する事で、注入作業時における共浮きを防止する事もできます。

保全工事共通仕様書:独立行政法人都市再生機構住宅営繕部監修より



※スリーブは躯体とグラウトピンの樹脂漏れを防ぐパッキンの役割があり、スリーブが付いた状態で使用して下さい。(スリーブは取り外さないで下さい。)



免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dyflex.co.jp/bousui/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。
2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

2023年4月版
(23.4月現在) 23.04.0.000 SJ